

あそびる 通信

VOL.28

平成 30 年 4 月 1 日発行

社会福祉法人あそびる 事務局	浜松市南区金折町 8 0 4-1 TEL 053-545-9754 FAX 053-545-9764
相談支援室ゆい（相談事業所）	浜松市南区金折町 8 0 4-1 TEL 053-545-9764 FAX 053-545-9764
あそびる（生活介護事業所）	浜松市南区金折町 8 0 7-1 TEL 053-427-1190 FAX 053-427-1200
あそびる（就労継続B型事業所）	浜松市南区金折町 9 5 7-2 TEL 053-544-5488 FAX 053-544-5488
フューン（共同生活援助事業所） しき（短期入所事業所）	浜松市南区金折町 8 0 4-1 TEL 053-545-3741 FAX 053-545-3715
ゆりあ（児童発達支援事業所）	浜松市中区蛸塚二丁目 6-1 3 TEL 053-489-3200 FAX 053-489-3216

事業所アラカルト

フューン ☆ 外出 ☆

三ヶ月に1回、利用者全員と職員で一日を使い外出しています。行先は全員で相談して決めています。外出を通じて、自立の為のスキルを身に着けたり、体験を重ね興味関心を広げていけたらと考えています。身体を動かし、汗を流し心身の安定を図り充実した生活を送る事に繋げていきます。1月の外出は金折住吉神社に初詣に行き、こだわりのカレー屋さんで昼食を食べ、おやつに焼き立てのたい焼きを買って帰宅しました。大満足の幸せな一日を過ごしました。次回はどこに出掛けようかと皆、次の外出を楽しみにしています。



散歩中 氷を発見

あそびる ☆ 散歩 ☆

利用者さんから「散歩に行きたい。」「散歩好き。」「との声を受け、中断していた毎日散歩の日課を再開しました。散歩に出掛けるまでに準備に時間のかかる利用者さんや足の裏の皮がむけてしまう利用者さんもありましたが、散歩しているときに見えてくる顔や聞こえてくる声からは心地良さを感じます。氷が張っていれば立ち止まり、「冷たい」と笑顔で触り、人とすれ違えば「こんにちは」と元気よく挨拶を交わします。頑張って歩かなくてもいい。人とふれあい、周りの景色や自然を感じることが心身の健康につながるのではと思いました。

あそびる ☆ 干し芋の販売 ☆

利用者さんの工賃アップを目指し、自分たちで栽培したさつま芋を使って、干し芋作りに挑戦しました。茹でたり、蒸したり、焼き芋から作ってみたり・・・と試行錯誤を繰り返しました。乾燥させる時間が短いと長持ちしないし、乾かしすぎると固くなってしまいます。切る厚さを変えるなどの工夫もしました。作った干し芋はご家族の力添えを得て完売することができました。来シーズンも作る予定ですので、ぜひ、お楽しみに！

ゆりあ ☆ チャレンジ ☆



体育館でかけっこ

今年度は家族行事を増やしました。これまでは流しそうめんとクリスマス会、年2回の土曜親子教室でした。親子教室の回数も増やし、日々の活動の中で行なっていた運動会と遠足を家族行事としました。保護者と過ごす子どもたちの姿は普段の園生活では垣間見ることができない場面を発見する機会にもなりました。保護者同士の交流の場にもなりました。月に1回、体育館を借りて体を動かす日を作りました。広い体育館の中を走り回っている子どもたちはとてもいい表情をしていました。年長児は地域の保育園にご協力していただき交流保育を行ってききましたが、今年度より浜松市根洗学園に出向き同年齢クラスに入れていただき交流を深めました。普段の小人数の集団では味わえない経験をさせていただきました。とりわけ就学を控えた年長児には良い体験になったと思います。

えくらん増築について

えくらん施設長 原田 美登里

えくらん建屋増築工事が4月から始まりました。隣接の田んぼを購入する運びとなり、それに伴いプロポーザル方式で建設業者を選定しました。業者と話し合いを重ねる中で「いよいよだな～」と胸躍らせております。

この増築の目的の一つは定員増員のためです。平成 16 年開設当初は 15 名の利用者さんから始まりました。平成 29 年度現在は定員 27 名、日中一時利用者を入れると 30 名が利用されています。同法人内の他事業所でも利用者さんの高齢化や求められる支援に変化が生じてきました。施設利用希望に応ずるため、これまでは部屋の使い方を工夫し利用に応じてきましたが、限界を迎えていました。スペースを拡げ、個別支援のブースを多く設け、落ち着ける空間を確保します。定員は段階を経て 40 名にしていく予定です。

二つ目は防災避難棟として災害時に備えるためです。防潮堤ができる事により津波を防ぐ事はできても、天竜川への津波遡上が起こるのではないかと危惧しています。近年、ゲリラ豪雨や大型台風による水害で甚大な被害が各地で起きています。防災の第一歩は「自助」です。被害想定をし対策を講じておくことで、被害を最小限度にとどめる事ができると考えます。川の反乱や増水に備えるため2階建の重量鉄骨にし、屋外に避難階段を設け、屋上に避難できるようにします。屋上避難場所は地域の皆様にも災害時に活用して頂けるように常時開放しておく予定です。



災害時に最も困るものは「水」です。過去の震災時においてライフライン完全復旧は、水道 90 日・電気 7 日・ガス 80 日だそうです。飲み水、トイレの水、手洗い、食器洗浄、洗濯と大量の生活用水が必要ですが、備蓄には限度があります。そこで敷地に井戸を掘る事にしました。手動ポンプ式井戸ですので災害時でも水の確保ができます。そのままでは飲料水になりませんが浄化装置等を使い飲料水としても利用できるようにしていきます。

事業所自らが日々の備えを万全にしておく事を基本に、地元自治会や地域の皆様と連携させていただければ心強い限りです。支援体制や協力関係を一緒に作り上げ、いざという時に日頃お世話になっている地域の皆様にも活用していただける施設にしていきたいと思います。「えくらんがあって安心だね。」と思っていただけたら幸いです。

ありがとうございました

(平成 29 年 10 月～2 月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい)

ボランティア

あそしえ後援会 (山本長行 古川雅康 加茂福史 白尾恂)
犬居和賀代 田島昭次 小楠和子(絵画) 伊藤和男(人形劇)(マジック)

ご寄附

橋爪照彦 河合秀敏 廣野博子 第一生命労働組合 一条工務店 (銅線)
あそしえ後援会 (ゆりかご：クリスマス会) (あぐり・えくらん：成人を祝う会) 有志匿名 (ゆりかご：絵本・おもちゃ) 須山鍊太郎 (大根)

アルミ缶ご協力

株中村組 ナカムラ道路株 伊藤忠税理士事務所 山田清美 池田理容店
河合秀敏 鴨江八日会 西伊場風揚げ会 赤池貞子琉球民謡研究所
地域の皆さまにもご協力いただいております。いつもありがとうございます

平成 29 年度のアルミ缶の売り上げは 102,920 円でした。

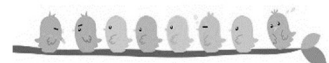
(利用者家族からの寄付は割愛。)

車輜のご寄附

相談支援室ゆいの
新しい車です。



寄贈：愛の都市訪問



あぐり施設長就任にあたり

あぐり施設長 池田 祐樹

4月より就労継続支援B型事業所あぐりの施設長に就きました。池田祐樹です。よろしくお願いします。

施設長としての責任感や動き方、仕事内容も変わってきます。今までとは、違った角度から物事を見る事で多くのことを学び、常に挑戦を忘れず行動していきたいと思います。

あぐりとしての目標は工賃を毎年アップする事です。内職作業や畑作業に取り組んできましたが、今後は「あぐりと言ったらこれだね。」という作物・自主製品をみんなで作っていきます。

第一は、ビニールハウスでのミニトマトとイチゴの水耕栽培・露地でのトウモロコシや枝豆・大根などの作物です。育て方を工夫し収穫量を増やし、保護者の皆様だけでなく無人販売所・ファーマーズマーケットに卸していきたいです。利用者の皆さんには、作物の生育や収穫の楽しみを経験してもらいたいです。

第二は、自主製品の干し芋の販売の拡大です。昨年度から、良かった点や改善点が見えてきたので、品質の向上と増産に取り組んでいきます。

今までの積み重ねを踏まえ、あぐりの特徴を打ち出していきます。

障害福祉に対する新たな国の動き

理事長 大場 栄雄



厳しい国の財政状況の中でも福祉予算は増え続けています。歳出を抑えるための新たな施策が次々と打ち出されています。

生活介護事業では、開所時間減算を強める方針を打ち出しています。開所時間に送迎時間を含むことができなくなります。

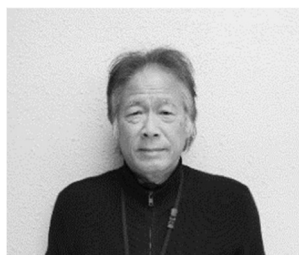
就労継続B型事業は、利用者定員数で訓練給付費の基準額が決められていたのですが、今後は利用者工賃支給実績額に応じ給付費基準額を定める方針を出しています。

全国の相談支援事業所が経営の厳しさ訴えていましたが、計画相談の人数やモニタリング回数の変更を示唆していますが給付費の増減は見えてきません。富山型と呼ばれる子ども・障害・お年寄りの多様なニーズを事業種別の縦割りの支援ではなく、「居場所」をキーワードとした地域ニーズに応じた支援を展開する仕組みを打ち出しています。

障害サービス事業所では「介護認定を受けた障害者は65歳からは介護保険を優先とする。」と規定した65歳問題を抱えています。国は、この対策として介護保険への移行をスムーズにするため障害サービス事業所が介護保険事業所としての認定も受けるダブル認定を進めています。垣根が外されれば、えくらん利用だけでなく近隣のお年寄りの方も利用できることになりますが、それぞれの特質はどうなるのか、求められる職員の資質は担保出来るのか等々の疑念が沸きます。

社会福祉法人は国から次々に打ち出される福祉施策に対応しつつ専門とする福祉サービスに専念することだけではなく地域の福祉ニーズを把握し、地域課題にも関わる努力を重ねる責務もあります。「こんな福祉サービスがあるといいのに。」とか「こんな活動ができると地域が元気になるのに。」など社会福祉法人への要望を是非お聞かせください。

地域の古老たちが「ボランティアだ。」と身構えることもなく、誰に頼まれたでもなく通学路の草を黙々とむしっている姿に出会うとホッとします。日々の事業を続ける一方で自治会や地区社協の皆さんとの連携を強め、地域の皆さんが毎日を穏やかに過ごせる活動に参画していきたいと思っています。



「法人間事業連携」について



天竜厚生会常務理事 **伊藤 栄**

私が、「社会福祉法人あそしえ」の評議員を仰せつかりまして早二年半が経過しようとしています。

それより以前から理事長とお会いする度に、今後、ますます多様化するご利用者のニーズにどう答えていくのか？ご家族の想いにどれだけ寄り添った事業が展開できているのか？等「熱い想い」を伺うと同時に様々なご教示を受けさせて頂きました。

その中でも特に共通認識を得られましたのは、各法人が実施している事業を相互に理解し、情報の共有化を図りながら事業を展開していくことの重要性でありました。一法人では完結し得ない事業でも、二法人が有機的に連携すれば実現の可能性は大幅に広がります。

社会福祉法人が事業を行う本旨は、ご利用者・ご家族・地域に潜在するニーズを如何に的確に把握し、事業サービスに結び付けられるかにあります。この考えは、いずれの社会福祉法人でも基本的には同じでありますから、「実現」できるのであれば、無理をして一法人で完結する必要は全く無いと思うのです。

ご利用者の高齢化や重度化が今後、ますます進行していく中で、「グループホーム・緊急ショートステイ・就労継続支援事業・相談支援事業」等に確実に対応していくために、これからも今まで以上に法人間の綿密な連携を維持・拡大できていければと考えております。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。



交流会 平成30年7月28日(土) 16:00~ るるるん 南区金折町 807-1

ボランティアさん募集します

- ・会場の準備 《テントの設営や会場の飾り付け》
- ・模擬店準備 《商品やゲーム準備、POP 貼り》
- ・模 擬 店 《商品の販売やゲームの受付》
- ・駐車場誘導 《お客様の誘導》

☆利用者さんと一緒にイベントを盛り上げてみませんか。
(問合せ るるるん TEL 053-427-1190)



バザー用品、抽選等景品 募集のお願い

- ・生活用品 《洗剤、タオル、雑貨、文具、おもちゃなど》
- ・食 品 《食油、調味料、缶詰、酒類、乾燥麺、野菜など》
(賞味期限にご注意ください)

☆施設へお届け頂くか、法人職員や関係者にお渡しくだされば助かります。

後援会ご入会・ご継続のお願い

みなさまのご善意により後援会を運営しております。法人のスポーツディやクリスマス会等の行事にボランティアとして参加したり、法人利用者の成人式やゆりかご卒園式には記念品の贈呈を行っています。

あそしえ後援会

「あそしえ」への財政的協力、支援活動
「あそしえ」の情報提供
会員相互の交流 その他

ご支援ご協力お願い致します。

年会費 個人会員 一口 1,000 円
法人会員 一口 10,000 円
郵便振替 00890-0-100480 あそしえ後援会

後援会ご加入・ご継続者

加藤健司 三ツ井康雄 山内慶太 森園直美 山本やちよ

(平成 29 年 10 月～平成 30 年 2 月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい。)